

資 料 編

I	産婦人科に対するアンケート結果	44
II	鹿児島大学医学部における母子感染防止のための授乳方法の検討結果	48
III	鹿児島県におけるATLによる死亡者の状況	48
IV	HTLV-1感染の確認された母から出生した児における感染率の推移-HTLV-1母子感染予防の未介入群，介入群別の比較	49
V	日本赤十字社の抗体陽性者への結果通知に関する資料	50
VI	年齢区分別HTLV-I（PA法）抗体陽性率（12年度～17年度）	52
VII	各種会議等の実施状況	53
VIII	マニュアル等の作成状況	54
IX	研究推進部会成果集関連文献一覧	55
X	鹿児島ATL制圧委員会及び部会委員名簿	64

I 産婦人科に対するアンケート結果

県内の産婦人科と各機関の協力を得て、医療機関での抗体検査の実施状況や授乳方法の指導の現状についてアンケートを実施した。

1 調査期間 平成18年7月～8月

2 対象医療機関 県内の産婦人科医院

(1) 対象医療機関 102医療機関

(2) 協力医療機関 64医療機関（うち、9件は分娩を取り扱っていない。）
 病院23医療機関（37.1%）／診療所39医療機関（62.9%）

3 結果等

(1) 妊婦の抗体検査の実施状況

ア 検査をおこなっているか。（回答数59医療機関）

妊婦全員に実施49医療機関(83.0%),実施せず9医療機関(15.3%)であった。

項目	回答数	割合	うち対象外機関の内訳
ア 全員実施	49	83.1%	2
イ 希望者のみ	0	0.0%	0
ウ 実施せず	9	15.3%	4
エ その他	1	1.7%	
(回答なし)			3
合計	59	100.0%	9

※ 対象外機関は、産科を取り扱っていない、又は、廃院しているとの記載があったもの。

イ 検査結果状況（回答34医療機関）

抗体検査受診妊婦数6,915名のうち154名（2.23%）が抗体陽性であった。

（検査期間：平成17年4月1日から平成18年3月31日）

項目	
抗体検査受診妊婦数	6,915名
うち抗体陽性者	154名
抗体陽性率	2.23%

(2) 抗体陽性妊婦に対する結果告知について

ア 結果告知時期（回答数44医療機関・複数回答あり）

妊娠4ヶ月が25医療機関（56.8%）、5ヶ月が10医療機関（22.7%）であった。

	回答数	割合
2ヶ月	2	4.5%
3ヶ月	7	15.9%
4ヶ月	25	56.8%
5ヶ月	10	22.7%
6ヶ月	4	9.1%
7ヶ月	1	2.3%
8ヶ月	1	2.3%
9ヶ月	3	6.8%
回答者数	44	

- イ 結果告知により抗体陽性妊婦が心配する事（複数回答あり，回答者数46医療機関）
子どもへの感染や自分の発症・健康管理及び感染の原因が上位を占めた。

	回答数	割合
ア 児への感染	46	100.0%
イ 夫への感染	7	15.2%
ウ 自分の発症・健康管理	24	52.2%
エ 家族への報告	4	8.7%
オ 感染の原因	13	28.3%
カ その他	1	2.2%
回 答 者 数	46	

(3) 抗体陽性妊婦への授乳指導の実施状況

- ア 母子感染防止の観点から授乳指導の実施状況

48医療機関中，47医療機関が指導しているとの回答であり，ほとんどの医療機関で授乳指導をしていた。

	回答数	割合
ア はい	47	97.9%
イ いいえ	1	2.1%
合 計	48	100.0%

- イ 指導時期（回答数47医療機関，複数回答あり）

42医療機関(89.4%)が抗体陽性の告知と同時にしているとの回答であった。

	回答数	割合
ア 告知と同時	42	89.4%
イ 妊娠〇ヶ月	6	12.8%
2ヶ月	2	
3ヶ月	1	
5ヶ月	2	
6ヶ月	1	
9ヶ月	4	
10ヶ月	2	
ウ その他	2	4.3%
回 答 数	47	

- ウ 指導している授乳方法（回答数46医療機関，複数回答あり）

3ヶ月間のみ母乳39医療機関（84.8%），人工栄養が31医療機関（67.4%）であった。

	回答数	割合
ア 人工栄養	31	67.4%
イ 3ヶ月間のみ母乳	39	84.8%
ウ 6ヶ月間のみ母乳	1	2.2%
エ 冷凍・加熱母乳	9	19.6%
回 答 者 数	46	

(4) 抗体陽性妊婦妊婦の授乳方法の選択について

ア 3ヶ月以内の短期間母乳を選択する割合（回答数43医療機関,複数回答あり）

ほとんどの妊婦が短期間母乳を選択すると回答した医療機関が19医療機関である反面、短期間母乳を選択する妊婦は少ないという医療機関も18医療機関と、全体的にはばらついて分布している。

項 目	回 答 数
ほとんどの妊婦が選択	19
約半数の妊婦が選択	11
選択者は少ない	18
計	48

イ 3ヶ月間母乳継続者（回答数29医療機関、複数回答あり）

ほとんどの妊婦が短期間母乳を成功していると回答した医療機関が、30医療機関あり、予定どおり実行できる者の割合が高いことが分かった。

項 目	回 答 者 数
ほとんどの妊婦が成功	30
成功と失敗が半々	5
ほとんどの妊婦が失敗	1
計	36

ウ 3ヶ月間短期母乳を選択する方の心配事（回答数31医療機関、複数回答可）

「児へのHTLV-I感染」（78.9%）,「母乳を飲ませないことについて、周囲に対する説明」（36.8%）,「児への免疫力の低下」（36.8%）が多かった。

項 目	回 答 数	割 合
ア 児の免疫力の低下	14	36.8%
イ 母児間の信頼関係の構築ができるか	12	31.6%
ウ 児へのHTLV-I感染	30	78.9%
エ 母乳を飲ませないことについて、周囲に対する説明	14	36.8%
オ 母乳を止める薬に対する抵抗	2	5.3%
カ SIDSへの影響	1	2.6%
キ 経済的な問題	0	0.0%
ク その他	1	2.6%
回 答 者 数	38	

エ 長期母乳を選択する者の理由（回答数31医療機関，複数回答あり）

「母児間の信頼関係の構築のため」（54.8%）「母乳での育児が推進されているため」（48.4%）という理由が多かった。

項 目	回答数	割合
ア 児の免疫力の低下が心配である	5	16.1%
イ 母児間の信頼関係の構築のため	17	54.8%
ウ 児へのHTLV-I感染が気にならない	7	22.6%
エ 母乳を飲ませないことについて、 周囲から責められないか心配である。	6	19.4%
オ SIDS予防のため	0	0.0%
カ 経済的な問題	3	9.7%
キ 母乳での育児が推進されているため。	15	48.4%
ク その他	5	16.1%
回 答 者 数	31	100.0%

(5) 児の抗体検査について

ア 医療機関における児の抗体検査勧奨状況（回答数46医療機関）

勧めていない29件（63.0%）／勧めている17件（37.0%）であった。

イ 母親からの児の抗体検査の希望者の割合（回答数24医療機関・複数回答あり）

ほぼ全員の妊婦が抗体検査の受診を希望していると回答した医療機関が，6医療機関ある反面，希望する妊婦は少ないと回答した医療機関が，17医療機関と，結果に開きが見られる。

項 目	回答数	割 合	割 合	回答数
ア 勧めている	17	37.0%	ほぼ全員	6
			約半数	1
			希望者は少ない	3
			回答なし	7
イ 勧めていない	29	63.0%	希望者は少ない	14
			回答なし	15
合 計	46	100.0%		46

ウ 児の抗体検査の追跡状況（回答数32件，複数回答あり）

26件（81.25%）追跡調査はしていないケースがほとんどであるが，調査している場合，生後12ヶ月2件（15.6%），生後36ヶ月2件（6.25%）となっている。

Ⅱ 鹿児島大学医学部における母子感染防止のための授乳方法の検討結果

1 実施時期

昭和61年度から平成12年度

2 対象者

鹿児島県及びその近隣に居住するHTLV-I抗体陽性の母親から出生した児を検査の対象とし、その中で生後18ヶ月以降のHTLV-I抗体検査結果がある者のみを解析の対象とした。

3 実施方法

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院及びその関連病院において、担当医師（産婦人科）から保護者への検査目的・内容の説明を行い、その後、児のHTLV-I抗体検査を希望して鹿児島大学医学部・歯学部附属病院及びその関連小児科を外来受診した場合、無料の抗体検査を行った。

4 受検者数

実施期間中の抗体検査受検者数は、1,193名であったが、その中で生後18ヶ月以降のHTLV-I抗体検査結果がある376名のみを解析の対象とした。

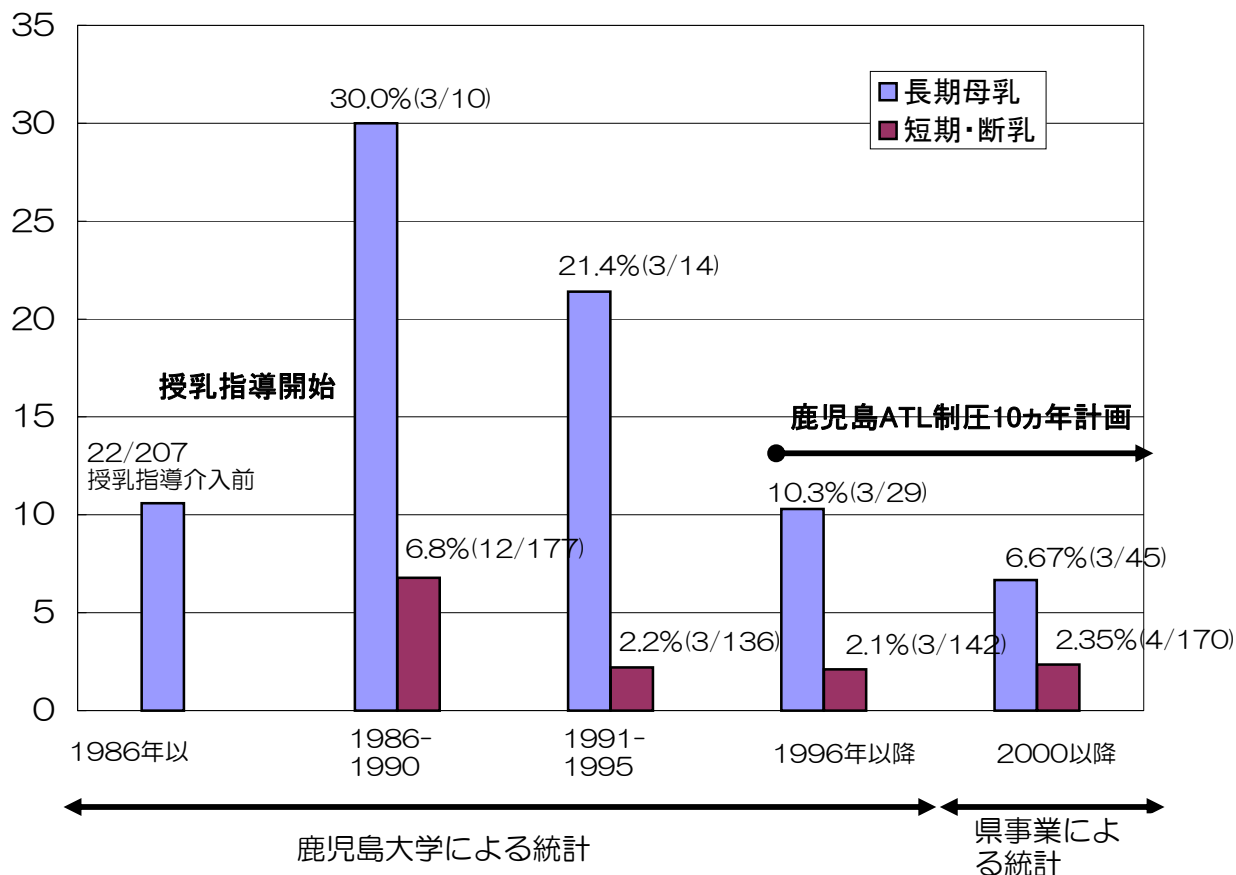
授乳方法 月齢		人工		短期		長期		不明		計	
		人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
計	陽性者数	14	4.98%	1	1.52%	6	22.22%	—	0.00%	21	5.59%
	被験者数	281		66		27				2	

※ 授乳方法が不明であった2名も含む。

Ⅲ 鹿児島県におけるATLによる死亡者の状況

年度	ATLによる死亡者数①	白血病による死亡者数②	白血病死亡者のうちATLによる死亡者の率 ① / ②	10万人対ATL死亡者数
7	127	216	0.59	7.08
8	120	219	0.55	6.70
9	150	233	0.64	8.38
10	144	246	0.59	8.05
11	145	235	0.62	8.12
12	166	270	0.61	9.32
13	153	262	0.58	8.60
14	146	242	0.60	8.23
15	147	262	0.56	8.31
16	132	246	0.54	7.46
合計	1,430	2,431	0.59	

IV HTLV-1感染の確認された母から出生した児における感染率の推移 -HTLV-1母子感染予防の未介入群，介入群別の比較-



平成 18 年 月 日

鹿児島県赤十字血液センター
所 長 ● ● ● ●

血液検査 (HTLV-I 抗体) 結果の通知について

先日は献血にご協力いただきまして、ありがとうございました。
さて、赤十字血液センターでは献血いただきました血液について各種の検査を行っておりますが、その結果あなたの血液は HTLV-I (ヒト T リンパ球向性ウイルス-I 型) 抗体検査が陽性でした。HTLV-I についての概要は同封の「HTLV-I について」に示しましたが、詳しい相談窓口は下記のとおり開設しておりますので希望される方は本通知文をご持参のうえご利用ください。なお、あなたの血液は輸血を受けられる患者さんへの感染を防ぐ意味で輸血に用いることはできません。何卒、趣旨をご理解のうえ今後の献血はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

記

1 相談窓口

① 鹿児島県赤十字血液センター

住所：鹿児島県鹿児島市鴨池新町 1 番 5 号

電話：099-257-3141 (代表)

担当：検査課 電話は土日祝祭日を除く平日の午前 10 時～12 時、午後 1 時～5 時の間にお願いします

面談を希望される方も必ず電話予約をしてください。

② 県内各保健所 (別紙-1)

③ 専門医療機関 (別紙-2)

医療機関で相談を希望される方は必ず予約のうえ、本通知文と健康保険証をお持ちください。

*この HTLV-I 抗体検査結果の通知は平成 11 年 4 月 1 日からはじまりました。県によって相談窓口が異なる場合がありますので、鹿児島県外居住の方で本通知文を受取られた方は所属県の血液センターにお問い合わせ下さい。また、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく担当 (検査課) にお問い合わせ下さい。お電話は土日祝祭日を除く平日の午前 10 時～12 時、午後 1 時～5 時の間にお願いします。

《検査結果》

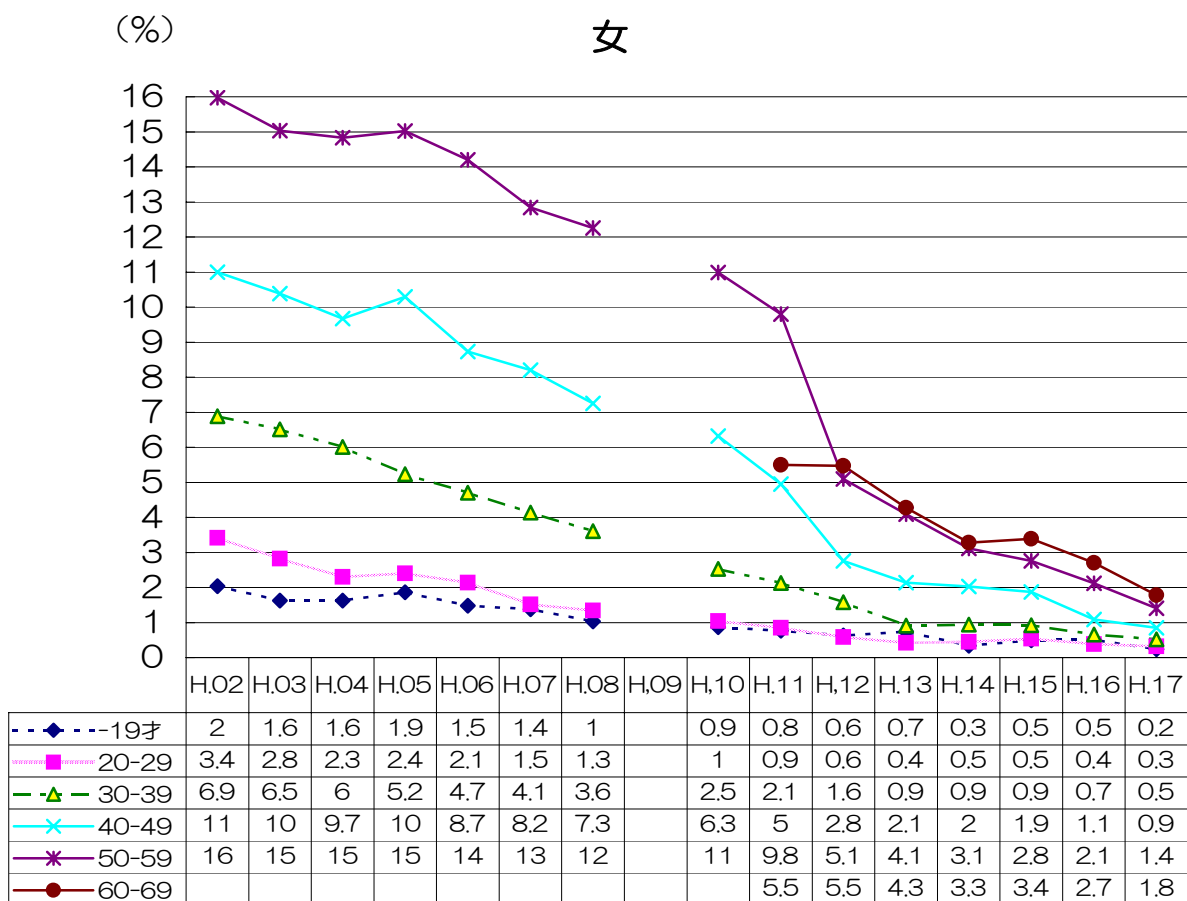
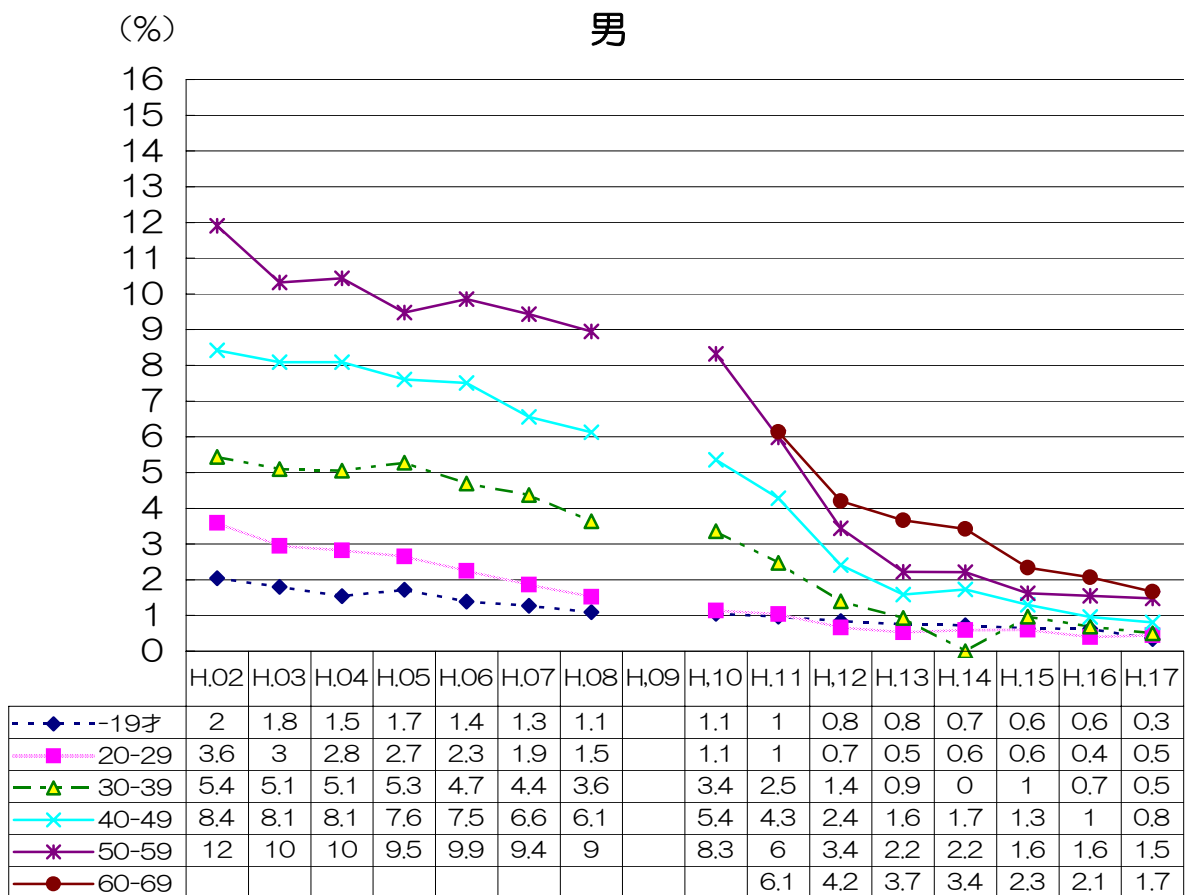
献血年月日

平成●年 ●月 ●日

HTLV-1 抗体検査結果

PA 法 (凝集法)	陽性
EIA 法 (酵素抗体法)	陽性
IF 法 (間接蛍光抗体法)	陽性

VI 年齢区分別HTLV-I (PA法) 抗体陽性率 (H2年度～17年度)



Ⅶ 各種会議等の実施状況

年度	開催日	会議等の名称	参集範囲	出席者数
9	平成9年5月12日	A T L 制圧委員会及び A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	
	平成9年11月19日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	14
	平成9年12月15日	A T L 制圧委員会	委員	12
	平成9年12月19日	A T L 対策事業説明会	保健所職員	15
10	平成10年12月11日	A T L 制圧委員会及び特別講演会	委員, 医療機関	250
	平成11年3月11日	A T L 制圧委員会及び A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	12
	平成11年3月18日	A T L に関する研修会	医療機関, 保健所職員	130
11	平成11年6月1日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	13
	平成11年7月8日	A T L 専門医療機関等連絡研修会	委員, 医療機関, 保健所職員	23
	平成11年7月14日	A T L カウンセリング技術研修会	保健所職員	37
	平成11年10月15日	A T L 制圧委員会	委員	7
	平成11年12月3日	A T L 研究成果発表公開シンポジウム	医療機関, 保健所職員	100
	平成12年3月28日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	13
12	平成12年5月25日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	14
	平成12年8月21日~22日	A T L 専門医療機関等連絡研修会	委員, 医療機関, 保健所職員	56
	平成12年11月20日	A T L 制圧委員会	委員	10
	平成13年3月19日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	12
13	平成14年2月26日	A T L 制圧委員会	委員	8
	平成14年2月26日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	13
	平成14年3月22日	A T L カウンセリング技術研修会	委員, 医療機関, 保健所職員	46
14	平成14年8月7日	A T L 制圧委員会	委員	7
	平成14年8月7日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	14
	平成15年1月22日	A T L カウンセリング技術研修会	委員, 医療機関, 保健所職員	42
15	平成15年8月22日	A T L 制圧委員会	委員	8
	平成15年8月22日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	12
	平成16年1月21日	A T L カウンセリング技術研修会	委員, 医療機関, 保健所職員	26
16	平成16年10月27日	A T L 制圧委員会	委員	5
	平成16年10月27日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	13
17	平成17年11月4日	A T L 制圧委員会	委員	6
	平成17年11月4日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	11
18	平成18年10月5日	A T L 制圧委員会	委員	6
	平成18年10月5日	A T L 制圧委員会健康管理部会	委員	10
	平成18年10月5日	A T L 制圧委員会研究推進部会	委員	8

Ⅷ マニュアル等作成状況

題 名	内 容	発 行 年 月 日
鹿児島A T L 制圧10カ年計画	10カ年計画の構想	平成9年6月
HTLV-I感染防止マニュアル (医療機関向け)	感染防止対策 留意事項 各種資料等	平成9年12月
HTLV-I感染防止マニュアル (保健所向け)	感染防止対策 留意事項 各種資料等	平成9年12月
鹿児島A T L 制圧10カ年計画中間評価	中間評価	平成11年10月
A T L 母子対策事業報告書	事業概要 抗体陽性妊婦調査 意識調査等	平成13年3月
改訂HTLV-1感染防止マニュアル	感染防止対策 留意事項 関係機関の役割	平成14年3月

IX 研究推進部会成果集関連文献一覧

第6章「研究の推進について」の関連文献の一覧です。

発表年度ごとに掲載し、年度内に複数の文献がある場合、研究推進部会委員の氏名順（五十音順）に掲載しています。

〔1988年〕

- 1 Usuku K, Sonoda S, Osame M, Yashiki S, Takahashi K, Matsumoto M, Sawada T, Tsuji K, Tara M, Igata A. HLA haplotype-linked high immune responsiveness against HTLV-I in HTLV-I-associated myelopathy: comparison with adult T-cell leukemia/lymphoma. *Ann Neurol* 23 (suppl):S143-S150, 1988.

〔1989年〕

- 1 Ueda K, Kusuhara K, Tokugawa K, Miyazaki C, Yoshida C, Tokumura K, Sonoda S, Takahashi K. Cohort effect on HTLV-1 seroprevalence in southern Japan. *Lancet* ii: 979, 1989.
- 2 Yoshida M, Osame M, Kawai H, Toita M, Kuwasaki N, Nishida Y, Hirai Y, Takahashi K, Nomura K, Sonoda S, et al. Increased replication of HTLV-I in HTLV-I-associated myelopathy. *Ann Neurol* 26: 331-335, 1989

〔1990年〕

- 1 Shoji H, Kuwasaki N, Natori H, Kaji M, Miyamoto Y, Usuku K, Sonoda S, Osame M. HTLV-I-associated myelopathy and adult T-cell leukemia cases in a family. *Eur Neurol*. 29: 33-35, 1990.
- 2 Ijichi S, Matsuda T, Maruyama I, Izumihara T, Kojima K, Niimura T, Maruyama Y, Sonoda S, Yoshida A, Osame M. Arthritis in a human T cell lymphotropic virus type I (HTLV-I) carrier. *Ann Rheum Dis*. 49: 718-721, 1990.

〔1991年〕

- 1 Takahashi K, Takezaki T, Oki T, Kawakami K, Yashiki S, Fujiyoshi T, Usuku K, Mueller N, The mother-to-child transmission study group, Osame M, Miyata K, Nagata Y, Sonoda S. Inhibitory effect of maternal antibody on mother-to-child transmission of human T-lymphotropic virus type I. *Int J Cancer* 49: 673-677, 1991.
- 2 屋敷伸治、園田俊郎. HLA-A26 抗原に対する抗血清の評価. 日本人のHLA (吉田、赤座 編) 今日の移植 4 (suppl) : 49-51, 1991.

〔1992年〕

- 1 Sonoda S, Yashiki S, Fujiyoshi T, Arima N, Tanaka H, Eiraku N, Izumo S, Osame M. Immunogenetic factors involved in the pathogenesis of adult T-cell leukemia and HTLV-I-associated myelopathy. X In *Advances in adult T-cell leukemia and HTLV-1 research* (Eds. Takatsuki K, Himuma Y, Yoshida M), Gann Monograph on Cancer Res. 39, pp 81-93, 1992.
- 2 Davies J, Sonoda S, Yashiki S, Osame M, Carnegie P. Mimicry between HTLV-I and myelin basic protein: no response in HTLV-I-associated myelopathy patients. *J Neuroimmunol*. 41: 239-244, 1992.
- 3 Eiraku N, Ijichi S, Yashiki S, Osame M, Sonoda S. Cell surface phenotype of in vitro proliferating lymphocytes in HTLV-I-associated myelopathy. *J. Neuroimmunol*. 37: 223-228, 1992.
- 4 Hamada T, Setoyama M, Katahira Y, Furuno T, Fujiyoshi T, Sonoda S, Tashiro M. Differences in HTLV-I integration patterns between skin lesions and peripheral blood lymphocytes of HTLV-I seropositive patients with cutaneous lymphoproliferative disorders. *J Dermatol Sci*. 4: 76-82, 1992.
- 5 Oki T, Yoshinaga M, Otsuka H, Miyata K, Sonoda S, Nagata Y. A seroepidemiological study on mother-to-child transmission of HTLV-I in southern Kyushu, Japan. *Asia-Oceania J Obstet Gynecol*. 18: 371-377, 1992.
- 6 Furukawa Y, Fujisawa J, Osame M, Toita M, Sonoda S, Kubota R, Ijichi S, Yoshida M. Frequent clonal proliferation of human T-cell leukemia virus type 1 (HTLV-1)-infected T cells in HTLV-1-associated myelopathy (HAM-TSP). *Blood* 80: 1012-1016, 1992.
- 7 Komurian-Pradel F, Pelloquin F, Sonoda S, Osame M, de Thé G. Geographical subtypes demonstrated by RFLP following PCR in the LTR region of HTLV-I. *Aids Res Hum Retroviruses*. 8: 429-434, 1992.
- 8 Fujino T, Fujiyoshi T, Yashiki S, Sonoda S, Otsuka H, Nagata Y. HTLV-I transmission from mother to fetus via a placenta. *Lancet* ii: 1157-1158, 1992.

〔1993年〕

- 1 Cartier L, Araya F, Castillo J, Zaninovic V, Hayami M, Miura T, Imai J, Sonoda S, Shiraki H, Miyamoto K, Tajima K. Southernmost carriers of HTLV-I/II in the world. *Jpn J Cancer Res*. 84: 1-3, 1993.
- 2 Blank A, Yamaguchi K, Blank M, Zaninovic V, Sonoda S, Takatsuki K. Six Colombian patients with adult T-cell leukemia/lymphoma. *Leukemia, Lymphoma* 9: 407-412, 1993.
- 3 Kubota R, Fujiyoshi T, Izumo S, Yashiki S, Maruyama I, Osame M, Sonoda S. Fluctuation of HTLV-I proviral DNA in peripheral blood mononuclear cells of HTLV-I-associated myelopathy. *J Neuroimmunol*. 42: 147-154, 1993.

- 4 Fujiyama C, Fujiyoshi T, Miura T, Yashiki S, Matsumoto D, Zaninovic V, Blanco O, Harrington W, Byrnes J, Hayami M, Tajima K, Sonoda S. A new endemic focus of human T cell lymphotropic virus type II carriers among Orinoco natives in Colombia. *J Infect Dis.* 168: 1075-1077, 1993.
- 5 Iijichi S, Tajima K, Zaninovic V, Leon F, Katahira Y, Sonoda S, Miura T, Hayami M, Hall W. Identification of human T cell leukemia virus type II infection in the Wayu, an aboriginal population of Colombia. *Jpn J Cancer Res* 84: 1215-1218, 1993.

〔1994年〕

- 1 Zaninovic V, Sanzon F, Lopez F, Velandia G, Blank A, Blank M, Fujiyama C, Yashiki S, Matsumoto D, Katahira Y, Miyashita H, Fujiyoshi T, Chan L, Sawada T, Miura T, Hayami M, Tajima K, Sonoda S. Geographic independence of HTLV-I and HTLV-II foci in the Andes highland, the Atlantic coast, and the Orinoco of Colombia. *AIDS Res Hum Retroviruses* 10: 97-101, 1994.
- 2 Miura T, Fukunaga T, Igarashi T, Yamashita M, Ido E, Funahashi S, Ishida T, Washo K, Ueda S, Hashimoto K, Yoshida M, Osame M, Singhal B, Zaninovic V, Cartier L, Sonoda S, Tajima K, Ina Y, Gojobori T, Hayami M. Phylogenetic subtypes of human T-lymphotropic virus type I and their relations to the anthropological background. *Proc Natl Acad Sci USA* 91: 1124-1127, 1994.
- 3 Setoyama M, Fujiyoshi T, Mizoguchi S, Katahira Y, Yashiki S, Tara M, Kanzaki T, Sonoda S. HTLV-I messenger RNA is expressed in vivo in adult T-cell leukemia/lymphoma patients: an in situ hybridization study. *Int J Cancer* 57: 760-764, 1994.
- 4 赤座達也、今西規、藤原孝記、徳永勝士、十字猛夫、屋敷伸治、園田俊郎. 日本人集団におけるHLAの遺伝子頻度とハプロタイプ頻度. 日本人のHLA (園田俊郎 編)、今日の移植 7 (supple): 87-99, 1994.

〔1995年〕

- 1 「HTLV-Iと母子感染」中村茂行, 川上清, 小児内科27 (10): 1465-1468, 1995年10月
- 2 Yoshinaga M, Yashiki S, Oki T, Fujiyoshi T, Nagata Y, Sonoda S. A maternal risk factor for mother-to-child HTLV-I transmission: viral antigen-producing capacities in culture of peripheral blood and breast milk cells. *Jpn J Cancer Res* 86: 649-654, 1995.
- 3 Miyashita H, Fujiyoshi T, Yashiki S, Kuwayama M, Fujiyama C, Sonoda S. Cloning of HLA-A26 cDNA from Japanese donors possessing ATL-associated HLA haplotypes. *Tissue Antigens* 46: 398-400, 1995.
- 4 Fujiyama C, Fujiyoshi T, Matsumoto D, Tamashiro H, Sonoda S. Evaluation of commercial HTLV-1 test kits by a standard HTLV-1 serum panel. *Bull WHO* 73: 515-521, 1995.
- 5 Fujiyama C, Fujiyoshi T, Matsumoto D, Yashiki S, Tamashiro H, Sonoda S. Re-evaluation of anti-HTLV-I western blot assay using HTLV-I and HTLV-II serum panels. *Clin Diag Virol* 4: 149-161, 1995.
- 6 Fujiyoshi T, Yashiki S, Fujiyama C, Kuwayama M, Miyashita H, Ohnishi H, Blank M, Zaninovic V, Blank A, Cartier L, Byrnes J, Harrington W, Miura T, Hayami M, Tajima K, Sonoda S. Ethnic segregation of HTLV-I and HTLV-II carriers among South American native Indians. *Int J Cancer* 63: 510-515, 1995.
- 7 Katahira Y, Yashiki S, Fujiyoshi T, Nomura K, Tara M, Mori M, Setoyama M, Kanzaki T, Shida H, Sonoda S. In vitro induction of cytotoxic T lymphocytes against HTLV-I-infected T cells from adult T-cell leukemia patients, asymptomatic HTLV-I carriers and seronegative healthy donors. *Jpn J Cancer Res* 86: 21-27, 1995.
- 8 Characterization of a unique T-cell clone established from a patient with HAM/TSP which recognized HTLV-I-infected T-cell antigens as well as spinal cord tissue antigens. Nagai M, Yashiki S, Fujiyoshi T, Fujiyama C, Kitze B, Izumo S, Osame M, Sonoda S. *J Neuroimmunol* 65:97-105, 1995.

〔1996年〕

- 1 Moritoyo T, Reinhart TA, Moritoyo H, Sato E, Izumo S, Osame M, Haase AT. Human T-lymphotropic virus type I-associated myelopathy and tax gene expression in CD4+ T lymphocytes. *Ann Neurol.* 1996;40:84-90.
- 2 Izumo S, Goto I, Itoyama Y, Okajima T, Watanabe S, Kuroda Y, Araki S, Mori M, Nagataki S, Matsukura S, Akamine T, Nakagawa M, Yamamoto I, Osame M. Interferon-alpha is effective in HTLV-I-associated myelopathy: a multicenter, randomized, double-blind, controlled trial. *Neurology.* 1996;46:1016-21.
- 3 中枢神経症状を呈したATLの1例
具志亮, 前田真一, 田中昭人, 片平充彦, 金蔵拓郎, 瀬戸山充, 神崎保, 松下紀文
リンフォーマ研究会雑誌 19: 130-133 (1996)
- 4 「母乳とウイルス感染—ATLウイルス感染」嶽崎俊郎, 川上清, 伊藤瑞子, 木下研一郎, 田島和雄, 周産期医学26 (4): 545-549, 1996年4月
- 5 Immunogenetics of HTLV-I/II and associated diseases. Sonoda S, Fujiyoshi T, Yashiki S. *J Acquir Immun Defic Synd Hum Retrovirus.* 13, S119-S123, 1996.

〔1997年〕

- 1 Matsushita K, Arima N, Ohtsubo H, Fujiwara H, Hidaka S, Kukita T, Suruga Y, Fukumori J, Matsumoto T, Kanzaki A, Yawata Y, Tanaka H. Granulocyte-colony stimulating factor induced proliferation of primary adult T-c

- ell leukemia cells. *Bri J Haematol*, 96:715-723, 1997
- 2 Ohtsubo H, Arima N, Matsushita K, Hidaka S, Fujiwara H, Arimura K, Kukita T, Fukumori J, Matsumoto T, Eizuru Y, Tanaka H. Human T lymphotropic virus type-I tax induction of CD21/ Epstein-Barr virus receptor expression on T cells and its significance in leukemogenesis of adult T cell leukemia. *Exp Hematol*, 25:1246-1252,1997
 - 3 Arima N. Autonomous and interleukin-2 responsive growth of leukemia cells in adult T cell leukemia. A review of cellular and molecular basis of ATL cell growth. *Leukemia and Lymphoma*, 26:479-487, 1997
 - 4 Hanada S, Utsunomiya A, Suzuki S, Uozumi K, Makino T, Arima T: Treatment for adult T-cell leukemia. *Cancer Chemoth Pharm* 40: 47-50, 1997
 - 5 ell leukemia/lymphoma (ATLL) with angiocentric and angiodestructive features. Ohtake N, Setoyama M, Fukumaru S, Kanzaki T. *J. Dermatol.* 24 : 165-169 (1997)
 - 6 Adult T-cell leukemia/lymphoma presenting with digital gangrene. Setoyama M, Yamamoto S, Kanzaki T. *Dermatology* 195 : 150-152 (1997)
 - 7 Adult T-cell leukemia/lymphoma associated with noninfectious epithelioid granuloma in the skin : a clinicopathologic study. Setoyama M, Katahira Y, Kanzaki T, Kerdel F.A., Byrnes J.J. *Am. J. Dermatopathol.* 19 : 591-595 (1997)
 - 8 広範囲皮膚粘膜のカンジダ症からみつかったATL
井上明代, 大竹直樹, 瀬戸山充, 神崎 保
西日本皮膚科 59 : 595-597 (1997)
 - 9 CTL / NKを用いた抗ATL免疫療法の開発
田中昭人, 牧野正彦, 高本哲郎, 瀬戸山充, 神崎 保, 園田俊郎
皮膚のリンフォーマ XVI : 122-124 (1997)
 - 10 手指に壊疽をきたした成人T細胞性白血病・リンパ腫の1例
瀬戸山充, 山元祥子, 田中昭人, 神崎 保
皮膚のリンフォーマ XVI : 74-77 (1997)
 - 11 Hanada S, et al. Treatment for adult T-cell leukemia. *Cancer Chemother Pharmacol.* 40 Suppl 47-50 1997)

〔1998年〕

- 1 Matsushita K, Arima N. Involvement of granulocyte colony-stimulating factor in proliferation of adult T-cell leukemia cells. *Leukemia and Lymphoma*, 31, 295-304, 1998
- 2 Arima N, Matsushita K, Suruga Y, Ohtsubo H, Fujiwara H, Hidaka S, Arimura K, Kukita T, Yamaguchi K, Fukumori J, Tanaka H. IL-2-induced growth of CD8+ T cell prolymphocytic leukemia cells mediated by NF-kB induction and IL-2 receptor a expression, *Leukemia Res*, 22:265-273, 1998
- 3 Nagai M, Usuku K, Matsumoto W, Kodama D, Takenouchi N, Moritoyo T, Hashiguchi S, Ichinose M, Bangham CR, Izumo S, Osame M. Analysis of HTLV-I proviral load in 202 HAM/TSP patients and 243 asymptomatic HTLV-I carriers: high proviral load strongly predisposes to HAM/TSP. *J Neurovirol.* 1998;4:586-93.
- 4 Matsuoka E, Takenouchi N, Hashimoto K, Kashio N, Moritoyo T, Higuchi I, Isashiki Y, Sato E, Osame M, Izumo S. Perivascular T cells are infected with HTLV-I in the spinal cord lesions with HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis: double staining of immunohistochemistry and polymerase chain reaction in situ hybridization. *Acta Neuropathol.* 1998;96:340-6.
- 5 Uozumi K, Nakahara K, Takatsuka Y, Ohno N, Makino T, Utsunomiya A, Hanada S and Arima T: Granulocyte colony-stimulating factor in the combination chemotherapy for adult T-cell leukemia (ATL). *Leukemia Lymphoma* 29: 407-414, 1998
- 6 Takizawa J, Suzuki R, Kuroda H, Utsunomiya A, Kagami Y, Joh T, Aizawa Y, Ueda R, Seto M: Expression of the TCL1 gene at 14q32 in B-cell malignancies but not in adult T-cell leukemia. *Jpn. J Cancer Res* 89(7): 712-718, 1998
- 7 Ishitsuka K, Hanada S, Suzuki S, Utsunomiya A, Chyuman Y, Takeuchi S, Takeshita T, Shimotakahara S, Uozumi K, Makino T, Arima T: Arsenic trioxide inhibits growth of human T-cell leukaemia virus type I infected T-cell lines more effectively than retinoic acids. *Br J Haematol* 103: 721-728, 1998
- 8 Hishima K, Ohgami A, Matsuoka M, Etoh K, Utsunomiya A, Makino T, Ishiguro M, Suzumiya J, Kikuchi M: Random integration of HTLV-I provirus: increasing chromosomal instability. *Cancer Letters* 132(1-2):203-212, 1998
- 9 Prurigo as a clinical prodrome to adult T-cell leukaemia/lymphoma. Setoyama M, Mizoguchi S, Kanzaki T. *Br. J. Dermatol.* 138 : 137-140 (1998)
- 10 Detection of HTLV-1 by polymerase chain reaction in situ hybridization in adult T-cell leukemia/lymphoma. Setoyama M, Kerdel F.A., Elgart G, Kanzaki T, Byrnes J.J. *Am. J. Pathol.* 152 : 683-689 (1998)
- 11 経発中にサイトメガロウイルス性網膜炎を併発した成人T細胞白血病の1例
島田祥子, 松下茂人, 福丸聖太, 山口圭子, 具志亮, 瀬戸山 充, 神崎 保, 迫田由紀子, 大庭紀雄, 寺崎 健

- 皮膚科の臨床 40 : 805-807 (1998)
- 12 成人T細胞白血病(ATL)患者の皮膚病変に対する治療法の比較検討
片平充彦, 田中昭人, 瀬戸山充, 神崎 保
Skin Cancer 13 : 66-71 (1998)

〔1999年〕

- 1 Arima N, Matsushita K, Obata H, Ohtsubo H, Fujiwara H, Arimura K, Kukita T, Suruga Y, Wakamatsu S, Hidaka S, Tei C. NF- κ B involvement in the activation of primary adult T cell leukemia cells and its clinical implications. *Exp Hematol*, 27, 1168-1175, 1999
- 2 Fujiwara H, Arima N, Hashimoto-Tamaoki T, Matsushita K, Ohtsubo H, Arimura K, Hidaka S, Tei C. Alteration of p16 (CDKN2) gene is associated with interleukin-2 induced tumor cell growth in adult T cell leukemia. *Exp Hematol*, 27, 1004-1009, 1999
- 3 Matsushita K, Arima N, Fujiwara H, Hidaka S, Ohtsubo H, Yoshimura T, Arimura K, Okamura M, Tei C. Spontaneous regression associated with apoptosis in a patient with acute-type adult T-cell leukemia. *Am J Hematol*, 61, 144-148, 1999
- 4 Matsushita K, Matsumoto T, Ohtsubo H, Fujiwara H, Kukita T, Imamura N, Hidaka S, Matsumoto M, Arima N. Long-term maintenance combination chemotherapy with OPEC/MPEC (vincristine or methotrexate, prednisolone, etoposide and cyclophosphamide) or with daily oral etoposide and prednisolone can improve survival and quality of life in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Leukemia and Lymphoma*, 36, 67-75, 1999
- 5 Chang Q, Lee B, Korecka M, Li G, Weyland C, Eck S, Gessain A, Arima N, Lessin SR, Shaw LM, Luger S, Kamoun M, Wasik MA. Differences in phosphorylation of the IL-2R associated JAK/STAT proteins between HTLV-I(+), IL-2 independent and IL-2 dependent cell lines and uncultured leukemic cells from patients with adult T-cell lymphoma/leukemia. *Leukemia Res* 23:373-384, 1999
- 6 Ohtsubo H, Arima N, Tei C. Epstein-Barr virus involvement in T-cell malignancy: significance in adult T-cell leukemia. *Leukemia and Lymphoma* 33:451-458, 1999
- 7 Jeffery KJ, Usuku K, Hall SE, Matsumoto W, Taylor GP, Procter J, Bunce M, Ogg GS, Welsh KI, Weber JN, Lloyd AL, Nowak MA, Nagai M, Kodama D, Izumo S, Osame M, Bangham CR. HLA alleles determine human T-lymphotropic virus-I (HTLV-I) proviral load and the risk of HTLV-I-associated myelopathy. *Proc Natl Acad Sci U S A*. 1999;96:3848-53.
- 8 Hayami Y, Komatsu H, Iida S, Utsunomiya A, Hanada S, Xu Jian Hua, Ni Huiping, Harada S, Tsuboi K, Banno S, Wakita A, Kato T, Ueda R. Microsatellite instability as a potential marker for poor prognosis in adult T cell leukemia/lymphoma. *Leukemia Lymphoma* 32(3-4): 345-349, 1999
- 9 青崎 真一郎, 濱田 富志夫, 馬場 泰忠, 古田 敏久, 畠中 真吾, 西俣 寛人, 石塚賢治, 花田 修一, 大石 一郎, 美園 俊明, 小倉 芳人, 蓮井 和久, 中村 勇一, 尾辻真人, 南 寛之, 島崎 隆, 宇都宮 與, 高崎 能久: ATL の消化管病変の臨床像. *胃と腸*34(7) : 857-872, 1999
- 10 Clinicopathologic analysis of 124 cases of adult T-cell leukemia/lymphoma with cutaneous manifestations : the smouldering type with skin manifestations has a poorer prognosis than previously thought.
Setoyama M, Katahira Y, Kanzaki T.
J. Dermatol. 26 : 785-790 (1999)
- 11 Purified protein derivative treatment for skin lesions of adult T-cell leukaemia/lymphoma.
Kanekura T, Gushi A, Kanzaki T.
Br. J. Dermatol. 140 : 767-768 (1999)
- 12 Myelodysplastic syndrome in a patient with adult T-cell leukaemia. Kawabata H, Utsunomiya A, Hanada S, Makino T, Takatsuka Y,
- 13 Takeuchi S, Suzuki S, Suzumiya J, Ohshima K, Horiike S.
Br. J. Haematol. 106 : 702-705 (1999)
- 14 成人T細胞白血病(ATL)患者の皮膚病変に対する治療法の比較検討
片平充彦, 溝口志真子, 田中昭人, 瀬戸山充, 神崎 保
皮膚のリンフォーマ XVIII : 46-49 (1999)
- 15 The presence of ancient human T-cell lymphotropic virus type I provirus DNA in an Andean mummy. Li H-C, Fujiyoshi T, Lou H, Yashiki S, Sonoda S, Tajima K. *Nature Medicine* 5, 1428-1432, 1999.

〔2000年〕

- 1 Matsushita K, Arima N, Yamaguchi K, Matsumoto T, Ohtsubo H, Hidaka S, Fujiwara H, Arimura K, Kukita T, Tokito Y, Ozaki A, Tei C. Granulocyte colony-stimulating factor production by adult T-cell leukaemia cells. *Br J Haematol*, 110:1-9, 2000
- 2 Makino M, Wakamatsu S, Shimokubo S, Arima N, Baba M. Production of functionally deficient dendritic cells from HTLV-1-infected monocytes: implications for the dendritic cell defect in adult T cell leukemia. *Virology*, 274:140-148, 2000.
- 3 Izumo S, Umehara F, Osame M. HTLV-I-associated myelopathy. *Neuropathology*. 2000 Sep;20 Suppl:S65-8.
- 4 Furukawa Y, Yamashita M, Usuku K, Izumo S, Nakagawa M, Osame M. Phylogenetic subgroups of human T cell lymphotropic virus (HTLV) type I in the tax gene and their association with different risks for HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *J Infect Dis*. 2000;182:1343-9.

- 5 Aye MM, Matsuoka E, Moritoyo T, Umehara F, Suehara M, Hokezu Y, Yamanaka H, Isashiki Y, Osame M, Izumo S. Histopathological analysis of four autopsy cases of HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis: inflammatory changes occur simultaneously in the entire central nervous system. *Acta Neuropathol.* 2000;100:245-52.
- 6 宇都宮 與, 高塚 祥芝, 魚住 公治: 成人T細胞白血病・リンパ腫に対する造血幹細胞移植. *血液・腫瘍科* 40(4): 326-333, 2000
- 7 園田 俊郎, 藤吉 利信, 屋敷 伸治, 有馬 直道, 宇都宮 與: 成人T細胞白血病(ATL)の発症予防と治療. *日本醫事新報* No.3973 : 16-25, 2000
- 8 Ishitsuka K, Hanada S, Uozumi K, Utsunomiya A, Arima T: Arsenic trioxide and the growth of human T-cell leukemia virus type I infected T-cell lines. *Leukemia Lymphoma* 37(5-6): 649-655, 2000
- 9 「HTLV-I」川上清, 武弘道, *小児感染免疫* 12 (3) : 227-231, 2000年10月1日
- 10 HTLV-I/II からみた人類. 園田俊郎, 田島和雄 *感染炎症免疫* 30 巻3 号2000 年医薬の門社, 東京. p35-42, ビジュアルレビュー
- 11 Green tea polyphenols induce apoptosis in vitro in peripheral blood T lymphocytes of adult T-cell leukemia patients. Li H-C, Yashiki S, Sonoda J, Lou H, et al. *Jpn J.Cancer Res.* 91, 34-40, 2000.

〔2001年〕

- 1 Arima N, Tei C. HTLV-I Tax related dysfunction of cell cycle regulators and oncogenesis of adult T cell leukemia. *Leukemia and Lymphoma*, 40:267-278, 2001
- 2 Yashiki S, Fujiyoshi T, Arima N, Osame M, Yoshinaga M, Nagata Y, Tara M, Nomura K, Utsunomiya A, Hjanada S, Tajima K, Sonoda S. HLA-A*26, HLA-B*4002, HLA-B*4006, and HLA-B*4801 alleles predispose to adult T cell leukemia: The limited recognition of HTLV type 1 Tax peptide anchor motifs and epitopes to generate anti-HTLV type 1 Tax CD8⁺ cytotoxic T lymphocytes. *AIDS Res and Hum Retrov.* 17:1047-1061, 2001
- 3 Matsuzaki T, Nakagawa M, Nagai M, Usuku K, Higuchi I, Arimura K, Kubota H, Izumo S, Akiba S, Osame M. HTLV-I proviral load correlates with progression of motor disability in HAM/TSP: analysis of 239 HAM/TSP patients including 64 patients followed up for 10 years. *J Neurovirol.* 2001;7:228-34.
- 4 Furukawa Y, Kubota R, Tara M, Izumo S, Osame M. Existence of escape mutant in HTLV-I tax during the development of adult T-cell leukemia. *Blood.* 2001;97:987-93.
- 5 Utsunomiya A, Miyazaki Y, Takatsuka Y, Hanada S, Uozumi K, Yashiki S, Tara M, Kawano F, Saburi Y, Kikuchi H, Hara M, Sao H, Morishima Y, Koderu Y, Sonoda S, Tomonaga M: Improved outcome of adult T cell leukemia /lymphoma with allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplant* 27(1): 15-20, 2001
- 6 Yamada Y, Tomonaga M, Fukuda H, Hanada S, Utsunomiya A, Tara M, Sano M, Ikeda S, Takatsuki K, Kozuru M, Araki K, Kawano F, Niimi M, Tobinai K, Hotta T, Shimoyama M, and other members of the Lymphoma Study Group of The Japan Clinical Oncology Group(1994-96): A new G-CSF-supported combination chemotherapy, LSG15, for adult T-cell leukaemia-lymphoma: Japan Clinical Oncology Group Study 9303. *Br J Haematol* 113: 375-382, 2001
- 7 Yashiki S, Fujiyoshi T, Arima N, Osame M, Yoshinaga M, Nagata Y, Tara M, Nomura K, Utsunomiya A, Hanada S, Tajima K, Sonoda S: HLA-A*26, HLA-B*4002, HLA-B*4006, and HLA-B*4801 alleles predispose to adult T cell leukemia: the limited recognition of HTLV type 1 Tax peptide anchor motifs and epitopes to generate anti-HTLV type 1 Tax CD8⁺ cytotoxic T lymphocytes. *AIDS Res Hum Retrov* 17(11): 1047-1061, 2001
- 8 Ohno N, Tani A, Uozumi K, Hanada S, Furukawa T, Akiba S, Sumizawa T, Utsunomiya A, Arima T, Akiyama S : Expression of functional lung resistance-related protein predicts poor outcome in adult T-cell leukemia. *Blood* 98(4): 1160-1165, 2001
- 9 Makino M, Utsunomiya A, Maeda Y, Shimokubo S, Izumo S, Baba M: Association of CD40 ligand expression on HTLV-I-infected T cells and maturation of dendritic cells. *Scand. J Immunol* 54: 574-581, 2001
- 10 宇都宮 與: 成人T細胞白血病. *つばさ* 34: 28-35, 2001
- 11 Spontaneous regression of cutaneous lesions in adult T-cell leukaemia/lymphoma. Kawabata H, Setoyama M, Fukushige T, Kanzaki T. *Br. J. Dermatol.* 144 : 434-435 (2001)
- 12 K bner現象をおこす皮膚疾患】お灸と搔破によるK bner現象を伴ったATL
内野ゆり, 瀬戸山充, 神崎 保
皮膚病診療 23 : 295-298 (2001)
- 13 下口唇に発生した疥癬の1例 ATL患者にみられた特異な皮膚
橋口貴樹, 瀬戸山充, 金蔵拓郎, 神崎 保
西日本皮膚科 63 : 169-171 (2001)
- 14 ATLのケブネル現象
片平充彦, 瀬戸山充, 吉井典子, 神崎 保
皮膚のリンフォーマ XX : 68-71 (2001)
- 15 リンパ節に限局性のCD4⁺ T細胞の増殖を認めた早期皮膚型成人T細胞性白血病／リンパ腫(ATLL)と考えられる一例
蓮井和久, 坂江清弘, 早田 隆, 津山新一郎, 米澤 傑, 村田長芳, 佐藤榮一, 瀬戸山充, 神崎 保
皮膚のリンフォーマ XX : 64-67 (2001)
- 16 「HTLV-I感染症」川上清, 武弘道, *小児内科* 33 (3) : 336-369, 2001年3月

- 17 HLA-A*26, HLA-B*4002, HLA-B*4006, and HLA-B*4801 alleles predispose to adult T cell leukemia: the limited recognition of HTLV type 1 tax peptide anchor motifs and epitopes to generate anti-HTLV type 1 tax CD8(+) cytotoxic T lymphocytes. Yashiki S, Fujiyoshi T, Arima N, ---, Sonoda S. *AIDS Hum Retroviruses*, 17,1047-1061, 2001
- 18 Yamada Y, Tomonaga M, Fukuda H, Hanada S, Utsunomiya A, Tara M, Sano M, Ikeda S, Takatsuki K, Kozuru M, Araki K, Kawano F, Niimi M, Tobinai K, Hotta T, Shimoyama M.
A new G-CSF-supported combination chemotherapy, LSG15, for adult T-cell leukaemia-lymphoma: Japan Clinical Oncology Group Study 9303.
Br J Haematol 113 375-382 2001
- 19 Ohno N, Tani A, Uozumi K, Hanada S, Furukawa T, Akiba S, Sumizawa T, Utsunomiya A, Arima T, Akiyama S.
Expression of functional lung resistance-related protein predicts poor outcome in adult T-cell leukemia. *Blood*. 98:1160-1165, 2001
- 20 Ohno N, Tani A, Chen ZS, Uozumi K, Hanada S, Akiba S, Ren XQ, Furukawa T, Sumizawa T, Arima T, Akiyama S. Prognostic significance of multidrug resistance protein in adult T-cell leukemia. *Clin Cancer Res*. 7 3120-3126 2001

〔2002年〕

- 1 Fujiwara H, Arima N, Akasaki Y, Ohtsubo H, Ozaki A, Kukita T, Matsushita K, Arimura K, Suruga Y, S. Wakamatsu S, Matsumoto T, Hidaka S, Eizuru Y, C. Tei C. Interferon-alpha therapy following autologous peripheral blood stem cell transplantation for adult T cell leukemia/lymphoma. *Acta haematol* 107, 213-9, 2002.
- 2 Matsushita K, Arima N, Ohtsubo H, Fujiwara H, Arimura K, Kukita T, Ozaki A, Hidaka S, Matsumoto T, Tei C. Poor response to prednisolone of idiopathic thrombocytopenia with human T-lymphotropic virus type 1 infection. *Am J Hematol* 71, 20-3, 2002
- 3 Fujiwara H, Arima N, Ohtsubo H, Matsumoto T, Kukita T, Kawada H, Imaizumi R, Ozaki A, Matsushita K, Tei C. Clinical significance of serum neuron-specific enolase in patients with adult T-cell leukemia. *Am J Hematol* 71, 80-4, 2002
- 4 Kukita T, Arima N, Matsushita K, Arimura K, Ohtsubo H, Sakaki Y, Fujiwara H, Ozaki A, Matsumoto T, Tei C. Autocrine and/or paracrine growth of adult T-cell leukemia tumor cells by interleukin-15. *Br J Haematol* 119:467-474, 2002
- 5 Sakaki Y, Terashi K, Yamaguchi A, Yoshiyama T, Ohtsubo H, Arimura K, Arima N and Tei C. Human T-cell 1 lymphotropic virus type 1 Tax activates lung resistance-related protein expression in leukemic clones established from an adult T-cell Leukemia patient. *Exp Hematol*, 30, 340-345, 2002
- 6 Vine AM, Witkover AD, Lloyd AL, Jeffery KJ, Siddiqui A, Marshall SE, Bunce M, Eiraku N, Izumo S, Usuku K, Osame M, Bangham CR. Polygenic control of human T lymphotropic virus type 1 (HTLV-I) provirus load and the risk of HTLV-I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *J Infect Dis*. 2002;186:932-9.
- 7 Yamano Y, Nagai M, Brennan M, Mora CA, Soldan SS, Tomaru U, Takenouchi N, Izumo S, Osame M, Jacobsen S. Correlation of human T-cell lymphotropic virus type 1 (HTLV-1) mRNA with proviral DNA load, virus-specific CD8(+) T cells, and disease severity in HTLV-1-associated myelopathy (HAM/TSP). *Blood*. 2002;99:88-94.
- 8 Lin X, Hanada S, Uozumi K, Utsunomiya A, Suzuki S, Shimotakahara S, Takeuchi S, Takatsuka Y, Arima T: Serum levels of endogenous thrombopoietin and granulocyte-colony stimulating factor in patients with acute or lymphoma type adult T-cell leukemia during multicycle chemotherapy. *Leukemia Lymphoma*43(2): 343-349, 2002
- 9 Ishitsuka K, Ikeda R, Utsunomiya A, Uozumi K, Hanada S, Suzuki S, Takeuchi S, Takatsuka Y, Takeshita T, Ohno N, Arima T: Arsenic trioxide induces apoptosis in HTLV-I infected T-cell lines and fresh adult T-cell leukemia cells through CD95 or tumor necrosis factor α receptor independent caspase activation. *Leukemia Lymphoma* 43(5): 1107-1114, 2002
- 10 石塚賢治, 宇都宮與, 青崎真一郎, 田代幸恵, 竹下武承: 上部消化管に再発を繰り返し慢性に経過した胃原発成人T細胞白血病/リンパ腫. *臨床血液* 43(7): 554-559, 2002
- 11 Ogata M, Ogata Y, Imamura T, Ohtsuka E, Kikuchi H, Utsunomiya A, Yashiki S, Sonoda S, Nasu M: Successful bone marrow transplantation from an unrelated donor in a patient with adult T cell leukemia. *Bone Marrow Transplant* 30(10): 699-701, 2002
- 12 茅野哲郎, 塗木徳人, 河原田孝宣, 上ノ町仁, 宇都宮與: 心嚢液貯留にて再発した成人T細胞白血病. *内科* 90: 1145, 2002
- 13 What is your diagnosis? — A case of adult T-cell lymphoma —
Mera Y, Katahira Y, Kanzaki T.
Proc. The 12th Jpn-Kor. J. Meet. 792-793 (2002)
- 14 末梢血と皮膚に異なるクローンの増殖を認めたATLの1例
片平充彦, 関山光弘, 神崎 保, 瀬戸山充
皮膚のリンフォーマ XXI: 90-93 (2002)
- 15 IFN- γ 投与が有効であったATLの2例 免疫組織化学的検討
片平充彦, 神崎 保, 瀬戸山充

西日本皮膚科 64 : 447-451 (2002)

- 16 Lin X-Y, Hanada S, Uozumi K, Utsunomiya A, Arima T, Takahashi H
Expression of SF-25 Antigen in Adult T-cell Leukemia
44 th Amrican Society of Hematology 2002.12 Philadelphia USAあ
特許公開2004-163121

〔2003年〕

- 1 Hatta Y, Arima N, Machino T, Itoh T, Hashimoto S, Takeuchi J, Sawada U, Hayakawa S, Yamamoto T, and H
orie T. Mutational analysis of Ikbα in hematologic malignancies. *Int J Mol Med*, 11, 239-242, 2003.
- 2 Arima N and Tei C. HTLV-1 Tax Protein Involved Refractoriness of ATL:
Molecular mechanisms and clinical significance. In: SG Pandalai (ed). *Recent Research Developments in Hae
matology*. vol 1, p103-106, Transworld
Research Network Press, Kerala, India , 2003.
- 3 Takenouchi N, Yamano Y, Usuku K, Osame M, Izumo S. Usefulness of proviral load measurement for monitor
ing of disease activity in individual patients with human T-lymphotropic virus type I-associated myelopathy/tropi
cal spastic paraparesis. *J Neurovirol*. 2003;9:29-35.
- 4 Kubota R, Furukawa Y, Izumo S, Usuku K, Osame M. Degenerate specificity of HTLV-1-specific CD8+ T cells
during viral replication in patients with HTLV-1-associated myelopathy (HAM/TSP). *Blood*. 2003;101:3074-81.
- 5 宇都宮 興 : ATL 治療の新しい展開. つばさ 42 : 32-45, 2003
- 6 Chuman Y, Takata T, Sameshima H, Takeuchi S, Takatsuka Y, Makino T, Blaser MJ, Utsunomiya A: Campylob
acter fetus bacteremia in a patient with adult T cell leukemia. *Clin Infect Dis* 36(11):1497-1498, 2003
- 7 Ishida T, Utsunomiya A, Iida S, Inagaki H, Takatsuka Y, Kusumoto S, Takeuchi G, Shimizu S, Ito M, Komatsu
H, Wakita A, Eimoto T, Matsushima K, Ueda R: Clinical significance of CCR4 expression in adult T-cell leukemia/l
ymphoma: its close association with skin involvement and unfavorable outcome. *Clin Cancer Res* 9: 3625-3634,
2003
- 8 Hasui K, Utsunomiya A, Izumo S, Goto M, Yonezawa S, Sato E, Kanzaki T, Murata F: An immunohistochemical
analysis of peripheral blood tissue specimens from leukemia cells: Leukemic cells of adult T-cell leukemia/lymph
oma express p40Tax protein of human T-cell lymphotropic virus type 1 when entering re proliferation. *Acta Hist
ochem Cytochem* 36(4): 345-352, 2003
- 9 宇都宮 興 : ATL における造血幹細胞移植と移植後の HTLV-1 プロウイルス量の変動. 成人 T 細胞白血病(ATL)の基礎と臨床-新
規治療法の開発へ向けて. (鶴池直邦, 岡村純・編), 財団法人長寿科学振興財団, 2003 年3 月, 59-73
- 10 An immunohistochemical analysis of peripheral blood tissue specimens from leukemia cells : leukemic cells of
adult T-cell leukemia/lymphoma express p40Tax protein of human T-cell lymphotropic virus type 1 when ent
ering re proliferation.
Hasui K, Utsunomiya A, Izumo S, Goto M, Yonezawa S, Sato E,
Kanzaki T, Murata F.
Acta Histochem. Cytochem. 36 : 345-352 (2003)
- 11 【成人 T 細胞白血病】 Sobuzoxane (MST-16) が著効を奏した ATL の 1 例
馬場千晶, 川畑 久, 片平充彦, 神崎 保
Skin Cancer 18 : 193-197 (2003)
- 12 「日常診療に役立つ小児感染症マニュアル2003-2004」川上清
日本小児感染症学会編, pp301-311, 2003年11月1日

〔2004年〕

- 1 Arima N, Arimura K, Tokito Y, Sakaki Y, Matsushita K, Orihara K, Akimoto
M, Ozaki A, Kukita T, Hagiwara T, Hamada H, and Tei C. HTLV-I Tax protein inhibits apoptosis induction
but not G1 arrest by pyrrolidinedithiocarbamate, an anti-oxidant, in adult T cell leukemia cells. *Exp Hematol* 32
:195-201, 2004.
- 2 Sabouri AH, Saito M, Lloyd AL, Vine AM, Witkover AW, Furukawa Y, Izumo S, Arimura K, Marshall SE, Usuku
K, Bangham CR, Osame M. Polymorphism in the interleukin-10 promoter affects both provirus load and the ri
sk of human T lymphotropic virus type I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *J Infect Dis*. 2004;
190:1279-85.
- 3 Saito M, Nakagawa M, Kaseda S, Matsuzaki T, Jonosono M, Eiraku N, Kubota R, Takenouchi N, Nagai M, Fur
ukawa Y, Usuku K, Izumo S, Osame M. Decreased human T lymphotropic virus type I (HTLV-I) provirus load a
nd alteration in T cell phenotype after interferon-α therapy for HTLV-I-associated myelopathy/tropical spast
ic paraparesis. *J Infect Dis*. 2004;189:29-40.
- 4 武元良整, 小濱浩介, 宇都宮 興 : 成人 T 細胞白血病に対する造血幹細胞移植. 今日の移植 17(1) : 105-112, 2004
- 5 Harashima N, Kurihara K, Utsunomiya A, Tanosaki R, Hanabuchi S, Masuda M, Ohashi T, Fukui F, Hasegawa
A, Masuda T, Takaue Y, Okamura J, Kannagi M: Graft-versus-Tax response in adult T-cell leukemia patients af
ter hematopoietic stem cell transplantation. *Cancer Res* 64: 391-399, 2004
- 6 Kannagi M, Harashima N, Kurihara K, Utsunomiya A, Tanosaki R, Masuda M: Adult T-cell leukemia: future pro
phylaxis and immunotherapy. *Expert Rev. Anticancer Ther* 4(3): 369-376, 2004

- 7 Karube K, Ohshima K, Tsuchiya T, Yamaguchi T, Kawano R, Suzumiya J, Utsunomiya A, Harada M, Kikuchi M: Expression of FoxP3, a key molecule in CD4CD25 regulatory T cells, in adult T cell leukemia/lymphoma cells. *Br J Haematol* 126(1): 81-84, 2004
- 8 宇都宮興, 高塚祥芝, 竹内昇吾, 小濱浩介, 米倉健太郎, 屋敷伸治, 園田俊郎: 成人T細胞白血病に対する同種造血幹細胞移植後の微小残存病変の検討 -HTLV-1 プロウイルスDNA 量を指標として-. *鹿児島県医師会報* 平成16年9月号: 71-73, 2004
- 9 宇都宮興: ATL に対する同種造血幹細胞移植の現状と課題. *Modern Physician* 24(10):1619-1622, 2004
- 10 石田高司, 宇都宮興, 上田龍三: Adult T-cell leukemia/lymphoma(ATLL)におけるケモカイン受容体発現の臨床的意義. *血液・腫瘍科* 49(3): 240-249, 2004
- 11 Ishida T, Iida S, Akatsuka Y, Miyazaki M, Komatsu H, Inagaki H, Okada N, Fujita T, Shitara K, Akinaga S, Takahashi T, Utsunomiya A, Ueda R: The CCR4 chemokine receptor as a novel specific molecular target for immunotherapy in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Clin Cancer Res* 10: 7529-7539, 2004
- 12 Kurihara K, Harashima N, Hanabuchi S, Masuda M, Utsunomiya A, Tanosaki R, Tomonaga M, Ohashi T, Hasegawa A, Masuda T, Okamura J, Tanaka Y, Kannagi M: Potential immunogenicity of adult T-cell leukemia cells in vivo. *Int J Cancer* 114(2): 257-267, 2004
- 13 Karube K, Ohshima K, Hamasaki M, Tsuchiya T, Yamaguchi T, Suefuji H, Suzumiya J, Nabeshima K, Utsunomiya A, Harada M, Kikuchi M: Gene expression in adult T cell leukemia/lymphoma: Up-regulation of matrix metalloproteinase 2 in skin lesions. *J Clin Exp Hematopathology* 44(2): 67-75, 2004
- 14 健常人, 悪性黒色腫および成人T細胞白血病患者に対するヨクイニンの効果 -NK活性とIFN- γ の変動- 神崎 保, 溝口志真子 *西日本皮膚科* 66: 490-493 (2004)
- 15 HTLV-1 provirus load in peripheral blood lymphocytes of HTLV-1 carriers is diminished by green tea drinking. Sonoda J, Koriyama C, Yamamoto S, Kozako T, et al. *Cancer Sci*. 95, 596-601, 2004.
- 16 成人T細胞白血病. 園田俊郎, 最新医学 59 巻 11 号, 「特集がんの化学予防」, 最新医学社, 東京, 76-84 頁, 2004 年.

〔2005年〕

- 1 Arimura K, Inoue H, Kukita T, Matsushita K, Akimoto M, Kawamata N, Yamaguchi A, Kawada H, Ozaki A, Arima N, Tei C. Acute lung injury in a healthy donor during mobilization of peripheral blood stem cells using granulocyte-colony stimulating factor alone. *Haematologica*. 2005; 90: ECR10.
- 2 Arimura K, Arima N, Kukita T, Inoue H, Arai A, Matsushita K, Taguchi S, Yoshida H, Ozaki A, Kawada H, Akimoto M, Tei C. Fatal splenic rupture caused by infiltration of adult T-cell leukemia cells. *Acta Haematol. Acta Haematol*. 113:255-257, 2005
- 3 Iwata S, Souta-Kuribara A, Yamakawa A, Sasaki T, Shimizu T, Hosono O, Kawasaki H, Tanaka H, Dang NH, Watanabe T, Arima N, Morimoto C. HTLV-1 Tax induces and associates with Crk-associated substrate lymphocyte type (Cas L) *Oncogene*, 24: 1262-1271, 2005
- 4 Uozumi K, Arima N. Recent advances and future perspectives in the treatment of adult T-cell leukemia/lymphoma (ATL/L). *Recent Research Development of Haematology*, Transworld Research Network Press, Kerala, India, vol 2:1-19, 2005
- 5 Matsushita K, Ozaki A, Arima N, Tei C. Human T-lymphotropic virus type I infection and idiopathic thrombocytopenic purpura. *Hematology*, 95-99, 2005
- 6 Fujiwara H, Kawada H, Matsushita K, Hamada H, Ozaki A, Inoue H, Yoshimitsu M, Kukita T, Arimura K, Ohtsubo H, Uozumi K, Arima N, Tei C.
Case of a patient with progressive adult T-cell leukemia/lymphoma treated successfully by reduced-intensity conditioning stem cell transplantation from an HLA-incompatible related donor. *Int J Hematol*. 82:357-61. 2005
- 7 有馬直道. 成人T細胞白血病的現状と今後の展望. *臨床とウイルス*, 33(5):336-346, 2005
- 8 Furukawa Y, Tara M, Izumo S, Arimura K, Osame M. HTLV-I viral escape and host genetic changes in the development of adult T cell leukemia. *Int J Cancer*. 2005;118:381-387
- 9 Matsuzaki T, Saito M, Usuku K, Nose H, Izumo S, Arimura K, Osame M. A prospective uncontrolled trial of fermented milk drink containing viable *Lactobacillus casei* strain Shirota in the treatment of HTLV-1 associated myelopathy/tropical spastic paraparesis. *J Neurol Sci*. 2005;237:75-81.
- 10 Okamura J, Utsunomiya A, Tanosaki R, Uike N, Sonoda S, Kannagi M, Tomonaga M, Harada M, Kimura N, Masuda M, Kawano F, Yufu Y, Hattori H, Kikuchi H, Saburi Y: Allogeneic stem cell transplantation with reduced conditioning intensity as a novel immunotherapy and antiviral therapy for adult T-cell leukemia/lymphoma. *Blood* 105(10): 4143-4145, 2005
- 11 石田高司, 宇都宮興, 上田龍三: CCR4 を分子標的とした難治性T細胞性腫瘍に対する新規抗体療法. *血液・腫瘍科* 50(4): 418-427, 2005
- 12 宇都宮興, 米倉健太郎: 成人に対する臍帯血移植の治療成績と今後-3- 成人T細胞白血病. *血液・腫瘍科* 50(2): 166-173, 2005
- 13 Fukushima T, Miyazaki Y, Honda S, Kawano F, Moriuchi Y, Masuda M, Tanosaki R, Utsunomiya A, Uike N, Yoshida S, Okamura J, Tomonaga M: Allogeneic hematopoietic stem cell transplantation provides sustained long-term survival for patients with adult T-cell leukemia/lymphoma. *Leukemia* 19: 829-834, 2005
- 14 Kannagi M, Harashima N, Kurihara K, Ohashi T, Utsunomiya A, Tanosaki R, Masuda M, Tomonaga M, Okamura J: Tumor immunity against adult T-cell leukemia. *Cancer Sci* 96(5): 249-255, 2005

- 15 Watanabe M, Ohsugi T, Shoda M, Ishida T, Aizawa S, Maruyama-Nagai M, Utsunomiya A, Koga S, Yamada Y, Kamihira S, Okayama A, Kikuchi H, Uozumi K, Yamaguchi K, Higashihara M, Umezawa K, Watanabe T, Horie R: Dual targeting of transformed and untransformed HTLV-1-infected T-cells by DHMEQ, a potent and selective inhibitor of NF- κ B, as a strategy for chemoprevention and therapy of adult T cell leukemia. *Blood* 106(7): 2462-2471, 2005
- 16 宇都宮 興, 塚田 順一, 河野 文夫, 森内 幸美, 魚住 公治, 松石 英城, 岡村 孝, 末岡 榮三朗, 今村 豊, 佐分利 能生, 菊池 博, 林 真, 岡村 精一, 牧野 茂義, 柴田 恵介, 久富 木庸子, 衛藤 徹也, 増田 昌人, 古賀 震, 高塚 祥芝, 田村 和夫: 成人 T 細胞白血病リンパ腫の同種造血幹細胞移植の適応規準作成を目指して—九州血液疾患治療グループ (K-HOT) アンケート調査—. *臨床と研究* 82 (7) :113-117, 2005
- 17 Fukuda R, Hayashi A, Utsunomiya A, Nukada Y, Fukui R, Itoh K, Tezuka K, Ohashi K, Mizuno K, Sakamoto M, Hamanoue M, Tsuji T: The incidence of ATLL and the formation of ATLL-typemultilobulated nuclei are associated with alteration on the PI3-kinase cascade. *Proc Natl Acad Sci USA* 102(42): 15213-15218, 2005.
- 18 Ohno E, Ono K, Kikuchi H, Saburi Y, Utsunomiya A, Nasu M: Prolonged remission of adult T-cell leukemia/lymphoma treated with interferon gamma following autologous peripheral blood stem cell transplantation. *Leukemia & Lymphoma* 46(12): 1843-1845, 2005
- 19 新しい臨床ウイルス学, HTLV 感染症」川上 清, 小児科診療, 68 (11) :2191-2196, 2005 年 11 月 1 日

〔2006 年〕

- 1 Owatari S, Uozumi K, Tokunaga M, Tokumaga M, Haraguchi K, Suzuki S, Arima N. Adult T-cell leukemia/lymphoma in a 21-year-old man. *Clin. Lab. Haem.* 28: 141-144, 2006.
- 2 Che X-F, Zheng C-L, Mutoh M, Owatari S, Gotanda T, Jeung H-C, Furukawa T, Ikeda R, Haraguchi M, Arima N, Tanaka Y, Akiyama S. Overexpression of surviving I primary ATL cells and sodium arsenite induces apoptosis by down-regulating surviving expression in ATL cell lines. *Blood*, 107:4880-4887, 2006.
- 3 有馬直道. 新しい診断と治療の ABC 36 血液 4, 成人 T 細胞白血病. 最新医学・別冊, p210-219, 2006,
- 4 Kozako T, Arima N, Toji S, Masamoto I, Akimoto M, Hamada H, Che X-F, Fujiwara H, Matsushita K, Tokunaga M, Haraguchi K, Uozumi K, Suzuki S, Takezaki T, and Sonoda S
Reduced Frequency, Diversity, and Function of Human T-cell Leukemia Virus Type 1-specific CD8⁺ T-cell in Adult T-cell Leukemia Patients. *J Immunol* in press
- 5 魚住公治, 有馬直道. 成人 T 細胞白血病・リンパ腫の治療, 日本臨床, 2006, 印刷中
- 6 Nose H, Saito M, Usuku K, Sabouri AH, Matsuzaki T, Kubota R, Eiraku N, Furukawa Y, Izumo S, Arimura K, Osame M. Clinical symptoms and the odds of human T-cell lymphotropic virus type 1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) in healthy virus carriers: application of best-fit logistic regression equation based on host genotype, age, and provirus load. *J Neurovirol.* 2006;12:171-7.
- 7 Inagaki A, Ishida T, Ishii T, Komatsu H, Iida S, Ding J, Yonekura K, Takeuchi S, Takatsuka Y, Utsunomiya A, Ueda R: Clinical significance of serum Th1-, Th2- and regulatory T cells-associated cytokines in adult T-cell leukemia/lymphoma: High interleukin-5 and -10 levels are significant unfavorable prognostic factors. *Cancer* 118(12): 3054-3061, 2006
- 8 Oshiro A, Tagawa H, Ohshima K, Karube K, Uike N, Tashiro Y, Utsunomiya A, Masuda M, Takasu N, Nakamura S, Morishima Y, Seto M: Identification of subtype-specific genomic alterations in aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma. *Blood* 107(11): 4500-4507, 2006
- 9 福田 隆一, 宇都宮 興, 伊藤 克彦, 辻 孝: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫に特異的な多分葉核形成と発症の分子機構. *血液・腫瘍科* 52(2): 197-204, 2006
- 10 Sanda T, Asamitsu K, Ogura H, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Okamoto T: Induction of cell death in adult T-cell leukemia cells by a novel I κ B kinase inhibitor. *Leukemia* 20(4): 590-598, 2006
- 11 Yonekura K, Kanekura T, Kanzaki T, Utsunomiya A, et al: Crusted scabies in an adult T-cell leukemia/lymphoma patient successfully treated with oral ivermectin. *J Dermatology* 2: 139-141, 2006
- 12 Kurihara K, Shimizu Y, Takamori A, Harashima N, Noji M, Masuda T, Utsunomiya A, Okamura J, Kannagi M. *J Immunol Methods* 313(1-2): 61-73, 2006
- 13 宇都宮 興: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫. *medicine* 43(7): 1169-1171, 2006
- 14 宇都宮 興: 造血幹細胞移植. 新・皮膚悪性リンパ腫アトラス 瀧川 雅浩, 岩月 啓氏, 大島 孝一, 島田 眞路, 瀬戸 山 充, 中村 栄 男 編 文光堂: 201-204, 2006
- 15 Crusted scabies in an adult T-cell leukemia/lymphoma patient successfully treated with oral ivermectin Yonekura K, Kanekura T, Kanzaki T, Utsunomiya A, et al *J Dermatology* 2: 139-141, 2006
- 16 Nomura K, Utsunomiya A, Furushou H, Tara M, Hazeki M, Tokunaga M, Uozumi K, Hanada S, Yashiki S, Tajima K, Sonoda S. A family predisposition to adult T-cell leukemia. *J Clin Exp Hematopathol* 46(2): 67-71, 2006
- 17 Kozako T, Toji S, Arima N et al. Diversity and frequency of anti-HTLV-1 CTL in asymptomatic HTLV-1 carriers and ATL patients. *J Immunol.* (2006, in press).
- 18 ウイルス発ガン の 化学 予防, 園田 俊郎, 「茶 の 効 能 と 応 用 開 発」, シー エム シー 出 版, 東 京, 46-54 頁, 2006 年.

X 鹿児島ATL制圧委員会及び各部会委員名簿

平成18年12月1日現在

鹿児島ATL制圧委員会 委員名簿

	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
委員長	内 山 裕	(財)鹿児島県環境技術協会相談役
副委員長	園 田 俊 郎	鹿児島大学 名誉教授
委 員	出 雲 周 二	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科付属難治ウイルス病態制御研究センター長
〃	折 田 勝 郎	鹿児島市保健所長
〃	新 村 健	鹿児島県医師会 常任理事
〃	古 瀬 徹	鹿児島国際大学福祉社会学研究科 教授
〃	前 田 芳 夫	鹿児島県赤十字血液センター 所長
〃	森 雅 美	鹿児島県弁護士会
〃	湯 丸 ミヨ	鹿児島県地域女性団体連絡協議会 会長
〃	吉 永 光 裕	鹿児島大学医学部, 歯学部附属病院周産母子部助教授

鹿児島ATL制圧委員会 健康管理部会 委員名簿

	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
部会長	出 雲 周 二	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科付属難治ウイルス病態制御研究センター長
委 員	秋 葉 澄 伯	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻教授
〃	有 馬 直 道	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科付属難治ウイルス病態制御研究センター教授
〃	池 田 琢 哉	鹿児島県小児科医会会長
〃	宇 田 英 典	鹿児島県保健所長会 川薩保健所長
〃	折 田 勝 郎	鹿児島市保健所長
〃	蔵 屋 一 枝	鹿児島県産婦人科医会
〃	郡 山 千 早	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻 助教授
〃	園 田 俊 郎	鹿児島大学名誉教授
〃	太 良 光 利	鹿児島市立病院内科科長
〃	富 永 秀 文	鹿児島県精神保健福祉センター所長
〃	中 村 茂 行	国立指宿病院小児科医長
〃	新 村 健	鹿児島県医師会 常任理事
〃	野 村 紘 一 郎	(医)義順顕彰会田上病院内科
〃	花 田 修 一	国立病院機構鹿児島医療センター 内科医長
〃	前 田 芳 夫	鹿児島県赤十字血液センター 所長
〃	吉 永 光 裕	鹿児島大学医学部, 歯学部附属病院周産母子部助教授

鹿児島ATL制圧委員会 研究推進部会 委員名簿

	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
部会長	有 馬 直 道	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科付属難治ウイルス病態制御研究センター教授
委 員	秋 葉 澄 伯	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻教授
〃	秋 山 伸 一	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻腫瘍学講座分子腫瘍学分野教授
〃	出 雲 周 二	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科付属難治ウイルス病態制御研究センター長
〃	宇 都 宮 與	今村病院分院長
〃	金 藏 拓 郎	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授
〃	川 上 清	鹿児島市立病院小児科部長
〃	園 田 俊 郎	鹿児島大学名誉教授
〃	花 田 修 一	国立病院機構鹿児島医療センター 内科医長
〃	宮 田 義 彦	鹿児島県環境保健センター所長
〃	吉 永 光 裕	鹿児島大学医学部, 歯学部附属病院周産母子部助教授
〃	米 澤 傑	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻腫瘍学講座人体がん病理学分野 教授